



# たいよう

第9号 令和8年1月8日(木)

- 【た】 たくましい子
- 【い】 生き生きと活動する子
- 【よ】 よく考える子
- 【う】 美しい心の子

## 目標に向かって粘り強く前向きに取り組む一年に

校長 関根 努

新しい年を迎えました。今年の元旦は、冬空に雲が浮かぶ中ではありましたが、入間川の土手や霞ヶ関東小学校の校舎から昇る初日の出、そして初雁橋から望む初富士を見ることができました。雲の合間から差し込む朝日の光に、新年の始まりを感じ、心が引き締まるとともに、新たな希望や決意を感じさせてくれるひとときでした。ゆっくりと空を照らし始める朝日を眺めながら、今年一年が、霞ヶ関東小学校の子どもたち、教職員、保護者、そして地域の皆様にとって、穏やかで実り多き年となるよう、心の中で祈りました。



さて、今年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。「午」は、前を向いて力強く進む馬の姿から、行動力や前進、挑戦を象徴する干支とされています。また、「丙」には、明るさや情熱、物事がはつきりと形になっていくという意味があり、努力の成果が表れやすい年ともいわれています。この二つが合わさった丙午は、内に秘めたエネルギーを生かし、自ら考え、行動することで道が開けていく年であると考えられています。



一方で、力や勢いが強い年だからこそ、その力の使い方が大切になります。勢いに任せて進むのではなく、自分なりの目標をしっかりと定め、周囲の人と協力しながら進むことで、その努力は確かな成果へとつながっていきます。これは、日々成長している子どもたちの姿にも重なります。やる気や元気、挑戦しようとする気持ちは、子どもたちにとって大きな財産です。その力を、学びへの意欲や友達を思いやる心、よりよい行動へと結び付けていくことが、これからの成長に欠かせないと考えています。

三学期は、一年間のまとめの学期であると同時に、次の学年、次のステージへと向かう準備の学期です。これまでの自分を振り返り、「できるようになったこと」や「がんばってきたこと」を確認しながら、「これから伸ばしたいこと」や「新たに挑戦したいこと」を見つめ直す節目の時期でもあります。丙午の年にふさわしく、自分の目標に向かって、粘り強く、前向きに取り組む一年にしてほしいと願っています。

本年も、子どもたち一人一人のよさと可能性がさらに大きく広がるよう、教職員一同、心を合わせて教育活動に取り組んでまいります。引き続き、保護者・地域の皆様の温かいご支援とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。